

平成27年度第13回小牧市地域協議会市民会議会議録

- 1 開催日時** 平成27年7月28日(火)
午後1時30分～3時15分

開催場所 小牧市役所 東庁舎5階 大会議室

2 出席者

- (1) 市民会議委員 15名
- (2) 事務局 協働推進課：江口課長、伊藤課長補佐、堀田係長、葛谷
- (3) 傍聴者 なし

3 会議資料

会議次第

『篠岡小学校区地域協議会』の地域づくり事業計画書および予算書
その他の地区の状況

4 会議内容

- 1 会長あいさつ
- 2 地域協議会の進捗状況の報告
 - (1) 『篠岡小学校区地域協議会』の地域づくり事業
 - 篠岡小学校区広域防災訓練事業
 - (仮称) 篠っ子クリスマス会&大餅つき大会事業
- 3 その他

【司 会】

それでは、ただいまから第13回地域協議会市民会議を開催いたします。

会に先立ちまして、皆様に市民憲章の唱和をお願いいたします。

恐れ入りますが、御起立をお願いいたします。

お手元の次第裏面をごらんいただき、私が先導させていただきますので、後に続いて御唱和をお願いいたします。

〔市民憲章唱和〕

【司 会】

ありがとうございました。御着席ください。

本日の予定につきましては、お手元の会議次第のとおりであります。

なお、本日5名の委員の欠席の連絡を受けております。

初めに、稲垣会長から御挨拶をいただきます。

【稲垣会長】

皆さん、こんにちは。

毎日暑い日が続きますね。また、本日は、お忙しい中、第13回地域協議会市民会議にご参集いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、地域協議会ですが、現在のところ16小学校中2つ、陶小と篠岡小で設立されているところです。他にも2、3地区で前向きに検討していただいております。

ただ、市内16小学校区全て設立していこうということは、かなり大きなハードルがあるんじゃないかなと思いますけれども、この会議で設立するにあたっての問題や課題等をいろいろ出していただき、皆さんで議論していただきたいと考えております。

この市民会議のメンバーも充て職の関係もあり、20名中7名の方が交代されたということで、また後ほど事務局から紹介があると思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【司 会】

ありがとうございました。

今、稲垣会長の御挨拶にもお話がございましたが、7名の方が新しく委員に就任されておりますので、事務局から御紹介をさせていただきます。

小牧市区長会から、委員として山本和彦さん、同じく松永幸男さん、同じく中村康信さん、同じく伊藤和俊さん。小牧市スポーツ振興会から、委

員として北澤昭一さん。

また、本日は仕事の都合で欠席ですが、小牧市小中学校PTA連絡協議会から、委員として鈴木泰敬さん、小牧市小中学校校長会から、委員として旭朝美さんに新しく委員として就任いただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

(拍手)

なお、新しい方の委嘱状につきましては、本日、机の上に置かせていただいておりますので、後ほど御確認ください。

それでは、会の議事進行は会長が行うこととなっておりますので、稲垣会長、よろしくお願いいたします。

【稲垣会長】

それでは、早速ですけれども、会を進めさせていただきたいと思います。

お手元の次第に従いまして、次第2の地域協議会の進捗状況の報告ということで、事務局に説明を求めます。お願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

【稲垣会長】

ありがとうございました。

では、地域協議会に関するご意見ご質問等、どんなことでも結構ですので、ご発言ありませんか。林委員、何かありませんか。

【林委員】

それぞれの地区で動きが出てきているようですが、実際の事業の中身を見ますと、2地区とも課題解決型事業よりもイベントの方に偏っており、どのように課題解決型事業を企画してもらうかということが大変難しいと思う。それから、行事の集約ということの関連で、これは以前から話が出ておりましたが、地域3あい事業との整合性はどのように考えているかお伺いしたい。

というのも、将来的には税収が減って大変厳しい状況が来るという割には、大盤振る舞いのような結果になってしまうことを心配するもので、市の考え方をお願いします。

【事務局】

課題解決型事業については、一つの大きな分かれ目が10年後の2025年、

いわゆる団塊の世代の方たち全員が75歳を迎えるというところで、こうなるときにはかなり人口構成の変化があり、ここを見据えたときにどういった活動が必要かということについて、地域で話し合いが始まったという状況です。

ただ、小学校区ということではないんですが、全市的に見ますと高齢者の集まるようなたまり場ですとか、サロンのような活動がここ数年で多分10カ所近く増えたような動きはあります。

次に地域3あい事業につきましては、市内でも各課との連携を図る中で、どういう取扱いがよいのかということ協議しておりますが、今のところは両方使える状態です。

市といたしましては、同一事業に重複して支出することがないようにチェックしております。決して無駄遣いをするという意味ではなくて、その辺は十分注意して執行させていただきたいというふうに考えております。

【林委員】

そうやって既存の補助金はそのままだという状態では、地域協議会を設立しなくてはいけないという緊迫感がいつまでたっても地域から出て来ないと思う。

地域からすると、今までどおり補助金をもらえれば何もそんな難しいことをすることはないということになり、役員も交代して、先送り先送りになってしまう。

地域3あい事業も128区のうち半分くらいしかやっていない。まさに地域協議会も同様で、10年経っても半分できているかいないかぐらいな形になってしまう気がする。そうではなくて数年後には既存の補助金を廃止し、地域協議会へ一括して交付しますよというような腹をくくった決断をしないと、いつまで経ってもこの会議でどうするこうするをやっているだけになる。

【稲垣会長】

ありがとうございました。

補助金の関係で私も確認したいが、現在、消防で防災訓練の補助金を出し始めたが、少し説明をお願いしたい。

【事務局】

消防で新設した防災関連の補助金ですが、今は区単位で自主防災会で地区防災訓練をやると補助が100%出るように、もちろん上限はあるんです

けど、出ます。

ただ、実は年々補助率が下がっていくという仕組みになっていまして、現実的には地域協議会を促進するという意味合いもありまして、来年は75%、再来年は50%、その次は25%というような、最終的に小学校区単位で防災訓練を行っていただけるようであれば補助金は100%出るというような補助金の制度になっております。

【林委員】

そういったことをしっかり説明していくことが市の役割だと思う。

【稲垣会長】

では吉田委員、何かお気づきの点はありますか。

【吉田委員】

篠岡小学校の福祉部会の状況について、分かる範囲で結構ですので、お聞かせ願いたいと思います。

【事務局】

テーマが地域の福祉ということで、かなり幅が広く、実際にお困り事を出していく際にも、情報があれば御自身で動ける方、情報があっても御自身で動けない方、あとは介護状態にある方、いろいろと高齢者を考えるだけでも、どこをターゲットに活動していこうかという状況で、今はどういふところをやっているかという話し合いをしている最中で、この話し合いを月1回ぐらいのペースで進めているところです。

【吉田委員】

ありがとうございます。

私は民生・児童委員という立場で、北里地区では災害時要援護者マップというものをつくっており、もう既に6年目か7年目になります。何とか市内全部でマップをつくったらどうだという理想を掲げておりますが、なかなか腰が上がらない状態です。

地域協議会も今の市長就任から5年目になっても指折り数える小学校区しかやっておられんというのが現状でございます。

そういう意味で、ただ予算をつけるからというんじゃなくて、地域で何が求められているか、何をしなければいけないか、どういう問題や課題があるかということ市がしっかり説明して、地域で話し合ってもらわなければならないと思います。そこで区長さん方、本日は6名の地区会長がおられますので、それぞれの地区で多少はそういう話をいただいているのかどうか、

そういう話もちよっとお聞かせ願いたいなどは思います。

【稲垣会長】

どうもありがとうございました。

【林委員】

今言われたので気がついたんだけど、福祉部会というのをせっかくつくったのに、予算もなくでは何もできない。そのあたりはどう考えるのか。

【事務局】

先ほどもお話をさせていただきましたが、福祉は幅が広く具体的な取り組みはこれからですが、実は話し合いの中で、まずはニーズを把握するためのアンケートをやろうという話が出ています。

アンケート実施に係る必要経費については、事業費とは別に各協議会に年間50万円の運営経費というのがありますので、それを活用していきます。

【稲垣会長】

では中村委員、お願いします。

【中村委員】

地域協議会に関しまして、巾下地区の現状についてお知らせいたします。

巾下地区で何回か会議をしておりますが、現在、ご存じのように、三ツ瀧学区では今から36年前に「三ツ瀧学区コミュニティ推進協議会」が設置されており、内容は今の地域協議会とほぼ同様だと思っております。

3年ぐらい前から協働推進課に説明等をお願いし、区長を中心に話し合いを進めてまいりました。

その中で大体の骨子はできておりますが、今一番のネックは、三ツ瀧学区内の5区が規模や高齢化等の状況が違うため、同じように役員を出せないということで地域協議会に進めないことが課題となっております。

他には、子ども会についても加入率が5割前後と年々減少しています。

それに伴い、「三ツ瀧学区コミュニティ推進協議会」の行事への参加率が悪くなってきています。

子ども会の加入・未加入に関わらず、広く参加を呼びかけることをすると、子ども会へ加入しなくても同じように行事に参加できるということになり、結果として組織率が悪くなってしまう。地域協議会全体で捉えても、役員のなり手不足ということが最大の課題です。

そのことについて、問題をいかに解決されたか、どこかの地域で良いアイデア等があれば教えていただきたい。私たちの地区でもできれば来年か

再来年には何とか地域協議会を設立していきたいと考えております。

【伊東副会長】

子ども会の件に関して言いますと、小牧市の子ども会連絡協議会の中での認識からいうと、三ツ淵は大体真ん中くらいの加入率で、活動状況であるという認識です。

やはり非常に参加率が高い地区もありますし、逆にもうゼロという地区もある中で、真ん中ぐらいかなという印象です。

今のご意見の役員のなら手の問題は、どこの子ども会さんも一緒だと思います。

やはり社会的な変化もあって、親御さんが昔とは違ってお仕事を持たれている方が非常に多いです。

なるべく市子連に入っていたら、何かお助けするようなことができないのかなということを思いながら、私たちは活動しているという状況です。

それで根本的なところに戻るんですけど、当初、広域的になれば役員のなら手はある程度解消されるというようなお話の中で地域協議会がスタートしたと思うんですが、今の話って逆説的ですよ。今は盛り上がっているからいいんですが、結局、同じところに戻っちゃうんじゃないのかなということを心配するんです。

市子連も、多分今から40年ほど前は盛り上がって、役員のなら手もたくさんあったと思いますが、時が経って、もう勘弁してくれということになる訳です。

学校の教育もちょっとボランティア中心になって、変わってきていますので段々、社会風土が変わっていくのかもしれませんが、何か考えた方がよいのかなとは思っています。

あと、話は変わりますが、先ほどの三ツ淵学区のように公開できない段階かも知れませんが、動きがあるような地区があれば教えていただければと思いますので、よろしくお願いします。

【稲垣会長】

ありがとうございました。

では他の地区の動きは区長会の地区会長がおみえですので、松永委員、何かありませんか。

【松永委員】

まず、この会だけじゃないんですけど、委嘱状をまたいただきましたというような状況で、地区会長になるとこんなに委員をやるのかということが正直な感想です。

果たしてこれだけの委嘱状をもらって、専門家ならいいんですけど、ぱっと資料をもらって、読み取れるほどの能力がちょっとないもんですから、これをどうやってこなすかということに関しては結構きついです。

それで、この地域協議会なんですけど、やること自体はいいけれども一体誰がやるのかということになるんです。

これも私、実を言うと区長6年目です。何で6年目かということ、なり手がいないから、6年やっている訳です。

もちろんこうやってでき上がっているところもありますが、じゃあ小牧地区で考えると、どこからスタートして、誰が先導役になって、というような状況で、まだまだとてもじゃないがというのが正直なところですよ。

【稲垣会長】

どうもありがとうございました。

では次に山本委員、お願いします。

【山本委員】

先ほどから、林委員から豪速球がぼんぼん飛びまして、会議に火がついたかなというふうに思いますけれど、南地区は、米野小学校区と南小学校区と分かれていまして、悪いことに北外山区というのは両方の学区にまたがっている状態で、非常に困っております。

それで南地区では、とりあえず南小学校区は北外山の半分が含まれているし、また南地区の区長会に入っていない常普請区が別にあって、それをどうやって一緒にやっていくかという課題がありますので、とりあえずこちらを後にして、米野小学校区は南地区の中に全て入っておりますので、こちらで話を進めようということで、北外山は半分ですけども、米野小学校区内の区長さん同士で話し合いをしながら、動き始めたところですが、いずれの区長さんも新任区長ですので、本当にこれからです。

ただ、今までの漠然とした内容の勉強会ではなく、設立することが前提のより具体的な内容の勉強会等を協働推進課に相談しながら、何とか前向きに進めていけるような段取りを考えていきたいなということを思っております。

南区長会としては、南小学校区の区長さん方も、米野小学校がどう進めていくのかの過程と一緒に勉強しながらやっていくと、その次のステップも踏みやすいかなあというふうに思います。

ただし、先ほど松永委員もおっしゃいましたけど、順調に行けば、私も来年の3月でおさらばですので、それで事が終わってしまうことのないように区長を退任しても何らかの形で残れるような仕組みをこれから検討していきたいと思っております。

最後に、どうしても役員のなり手不足、担い手不足という問題については回りますので、その辺をどう解決していくかは当面の課題だろうと思いません。以上です。

【林委員】

先ほどのご発言で、北外山が米野小と南小の2つに分かれているということと、常普請区の取扱いというような行政区と学校区との不一致についてどう仕分けをするのか。市として良い考えはないのか。

【事務局】

以前からお話が出ておりますが、行政区と小学校区の境界の不一致、要するに1つの区において、2つの学区にまたがるというところがすごくたくさんありまして、その中でおおむね住民の方の人数でいくと1割、2割ぐらいがA小学校、残り8割、9割がB小学校という形がかなり多いというような中、市内128区のうち2つ、小松寺区と北外山区がほぼ真ん中で学区に線が入っており、これまでこの地域協議会の制度方針、小学校区単位にしようとか、そういう話し合いの中で区長さん方から多く出た意見としては、今までは運動会でも、卒業式でも、ちょっとでも自分の区がA、Bと学区にまたがっていけば、両方顔を出して、おつき合いしてきたんだけど、仮に協議会をやるのであれば、やっぱり両方は大変で、更に市から区に、両方つき合っていくのか、どっちかにするのか決めてくださいと言われると、区長さんたちも困るので、原則的には8割、9割のほうで協議会はやっていくという方法がいいのではないかという意見が出ております。

ただ、小松寺区と北外山区については、個別の話し合いは必要ですが、やはり両方におつき合いいただかないと成り立たないので、負担が大きくなってしまおうということを感じております。

【稲垣会長】

では最後になりますけど、北里地区の伊藤委員、何かありますか。

【伊藤委員】

私どもは小木小学校区で今話し合いを進めており、特に防災をテーマに小木小学校区の校長にも相談をしながらやっています。

前回の台風のときにも一番被害を被った藤島団地区ととみづか区にリーダーシップをとってもらって、検討をしている最中です。以上です。

【稲垣会長】

どうもありがとうございました。

今聞いていただきまして、各地区とも表には出ていないんですけども、前向きに検討をしていただいていることがよく分かりました。ですから、あと一押しを事務局がやらしてもらえば、すぐできるんじゃないかなと個人的には思っています。

やはり最初から何もかもやるということではなくて、地域で必要なことをひとつずつやってみて、徐々に幅を広げていくような形でよいと思います。

【林委員】

問題は、誰が旗振りをやるかということだと思う。

もちろん区との連携という意味合いで現役区長には何らかの形で関わっていただくことになると思うが、旗振りは現役区長でなくてもよいと思うし、せっかく今までずっと区長や民生委員等に説明してきたんだから、例えば過去のOBに呼びかけて、何とかお願いできないかというようなことをやらないと、誰かやってくれないかなということでは待っていたら、うやむやで終わってしまう。

【稲垣会長】

そうですね。旗振り役は地域の区長OBだとか、そういった人をお願いするのが良いと思いますし、人材はたくさんいると思います。

【増田委員】

まず一つ目に一番重要なのは、林委員も言われましたが、私委員になって2年目で、会議でいろいろ聞いて、今ここに座っているんですけども、ほとんど進歩がないんです。

私も当初は2、3年もすれば、4地区か5地区くらいはできるのかなと勝手に想像してましたが、現実的に2地区目がようやく少し動き出したという状況に留まっています。

恐らくもう後1、2年でできなければ、もうできないと思います。

私は三ツ渚学区で、中村委員から状況の報告がありました。区長や区長が終わった次の年の顧問、このあたりは結構具体的な話はするんですけども、それを過ぎると、うんとトーンが下がるんですよ。

だから、ここに今、地区会長の皆さんがお見えですが、多分、今はいろいろ責任があって、やらないかんというふうに思っておられると思うんですが、これが多分1年、2年過ぎると、恐らくトーンが下がっちゃうと思うんです。

だから、本当に16小学校区全部立ち上げようと思ったら、できるかできないかは別にして、ある意味強制的にというか、何かそういうことをしないと、無理だと思います。まあ、半分できればいいわということで済めば、それはそれでいいんだけど、そういうわけにいかないと思うし、そろそろそういう時期ではないかと思います。

次に、この篠岡小学校区の予算を見て、少し大盤振る舞いかなという印象です。例えば餅つき大会に43万円ということで、実は西部コミュニティでも既にいろいろな行事をやっていて、毎年、餅つきもお正月にやるんですよ。参加者も大体、1,000人とは言わないけれども、それぐらいに近い人が来るんです。

あとは夏祭りとか、年間5つぐらいは行事をやっています。これだけやって、市の補助金というのは年間20万です。あとは全て地域で、事業所をまわって寄附金をもらったりして、やりくりしているんです。もちろん役員等も全てボランティアです。防災訓練も然りです。

そういう状況からすると、少しどうかなあという気がします。

【稲垣会長】

ありがとうございました。稲山委員、何かありますか。

【稲山委員】

いろいろな御意見を皆さん方がおっしゃって、それぞれ最もな意見かなあと思って聞いておりました。特に今、増田委員がおっしゃったように、私は西部コミュニティの会長を昨年やらせていただいて、今年は顧問ということで残っておるわけですが、基本的に現在、立ち上がっている地域協議会の事業のほとんどは、西部コミュニティでは既にやっているんです。

そういうことをふまえると、あまり校区にこだわらずに、例えば西部で言うなら、三ツ渚小学校区と村中小学校区が一つになって西部コミュニティをやっているんですが、そういう単位も認めていただければなら、

それなりにまた考え方も少しは変わってくるのかなと、そんなようなことも少し思いましたので発言させていただきました。

【稲垣会長】

貴重なご意見ありがとうございます。

そのほか、北澤委員、何かありませんか。

【北澤委員】

スポーツ振興会も各校区に発足してから三十数年経って、今から10年くらい前に、これからは総合型でやりなさいという方針になって、どの地区もやり始めたんですが、結局、総合型で完全に受益者負担の会費制でやれているのは4つか5つくらいに留まっています。

他の委員さん方からもご意見がありましたが、全市的に進めていくなら、もう少し市から強く言っていただいたほうがよいと思います。

【水野（和）委員】

社会福祉協議会ボランティアセンターという立場で視点が違って、今から言うことが本当に場違いかもしれないんですが、少し発言したいと思います。

今、地域協議会の重要さとか、実際の活動されている話の内容など、本当に聞いていても難しい内容もございましたが、あっちこっちであれを立ち上げろ、これを立ち上げろと、本当に地区で走っていらっしゃる方がいらっしゃるんですね。

私、ボランティアのサロンを立ち上げ、そういうのを見せていただいて、実はすばらしい光景を1つ見てきたんですけど、お孫さんとお散歩していらっしゃるおじいちゃんが、「あっ、ここでサロンやっているからお茶を飲んでいこう。」と孫を連れて会場に入る。そうすると、会場では来ていらっしゃる地域の皆さんが、全員がお客さんではなく、お出迎えをして、孫は孫で子どもたちの中で遊んでいて、乱暴なお孫さんがいたら、その地域の方が自分の孫でなくてもちゃんと叱るんです。

そういう雰囲気私、1時間半ほど見せていただいたんですけど、協議会にせよ、サロンにせよ、本当に先頭を切ってやられる方は大変なんですけど、やっぱりそれを支えてくださる地域の住民との関わりというのがすごく重要だと思うんです。

たくさん組織を立ち上げ、これをやり、あれをやりということも大事なこともかもしれませんが、地域の縦のつながりとか、横のつながりがしっか

りしてこないと、みんなが走り回るだけで、何か疲れてくると止めちゃえとか、役員がかわったら止めちゃえとか、そんなことになってしまい、せっかくの力が分散してしまうのは何かもったいなという気がしました。

この地域協議会は今バラバラに動いている力を集めて、うまく繋げて大きな力にしていくものだと思います。ここで貴重な意見を聞かせていただいて、本当に学ぶことが多いんですけども、ボランティアセンターとしてどんなふうにお力になれるのかとか、もし私たちがどこかで参加させていただいて、いろんなことをお力添えができるのであれば、どんなふうに動かしたらいいんだろうかということのを思いながら、お話を聞かせていただいておりました。

本当に取りとめのない話で申し訳ありませんが、またいろいろ教えていただきたいので、よろしくお願いします。ありがとうございました。

【吉田委員】

旗振りを誰がやるかというお話で、まずリーダー候補となる方を探すためにも地域の各種団体の代表者等の情報を共有する必要があると思います。ただ、個人情報との関係で難しい部分はあると思いますが、そういうところから始めないと進んでいかないと思いますので、よろしくお願いします。

【稲垣会長】

ありがとうございました。

それでは石原委員、何かお気づきの点がございましたら、お願いします。

【石原委員】

以前にもお話ししましたが、今、一色小学校区はスポーツ振興会が大変活発にやっています。その中で、リーダーシップをお持ちになる人にしっかり趣旨を説明したうえで、旗振り役をお願いしていくのが良いのかなと思っています。

だから、市の職員も大変だと思いますけど、できるだけ積極的に現場に出向いて、もう少し市から地域協議会の趣旨や必要性などの説明をし、進めてほしいと思います。

【稲垣会長】

ありがとうございました。

では、丹羽委員も何かお気づきの点があったらお願いします。

【丹羽委員】

私は、保健連絡員という立場で、ずっとお話を聞いてきたんですが、や

やはりそれぞれの地域がいろいろな問題を抱えており、会議を重ねても、結局、昨年聞いたところに話が戻ってしまうという感じで、やはり林委員のご意見があったとおりにリーダーを探すことが一番先決かなということを行いました。

それで保健連絡員として、どのように貢献できるかということを考えておりましたが、この篠岡小学校の組織体制の中で福祉部会ができていたので、改めて福祉分野で保健連絡員が頑張っていけるかなと思いました。

保健連絡員は皆様の健康のお助けになることを願って活動しておりますので、皆さん、もし御活用していただけるようなことがあれば、ぜひとも参加したいと思いますので、よろしくお願いします。以上です。

【稲垣会長】

どうもありがとうございます。

今日のところは意見も出尽くしたと、こんなふうに拝察いたします。

皆さん方に出していただいた幾つかの御意見については、事務局の方でもご検討いただきたいと思います。

また、地域に積極的に出たほうがいいよというような意見もございましたので、また事務局に頑張って地域に出ていただいて、本当に地域協議会が必要だということを地域に知ってもらわないかんし、高齢化等の様々な課題に対応できる地域をつくっていかないといけないのかなと思っています。

それからもう1点、意見の中で、西部コミュニティの稲山委員からのご意見で、単位を柔軟に考えたらどうだというような話もありましたけれども、その辺をどう捉えていくかといったことをこうして皆さん方と意見を交わしながら、その辺の問題も解いていく必要があるのではないかなと思っていますので、よろしくお願いします。

それでは、次第の3のその他について、事務局、何かあればお願いします。

【事務局】

本当にいろいろな御意見をいただき、ありがとうございました。

特に立ち上げにつきましては、厳しいながらも前向きな御意見をいただきまして、ありがとうございます。

冒頭で申し上げたとおり、将来的な人口構成の変化等を考え、先を見据えた取り組みでありまして、今から準備していく必要があるというところ

で進めているところであります。

小牧市の場合、どちらかというところと人口減少に入っていく年とか、財政的に見ましても、全国的にどうかというところ、まだ危機感という点では、実感が持てないところでもあります。ただ、現実的に、財政難であったりとか、かなり高齢化が進んでいた他市町で、そういった取り組みを始めた事例を見ておきますと、幾つかの共通点があります。

1つ目には、まず先ほどもちょっといろいろ意見があったんですが、やはり地域というつながりの中で、区長さんとか民生委員さん、保健連絡員さん、市民活動団体さん、その他いろいろあると思うんですが、こうした方たちがまず一堂に会して、地域の課題ですとか、今後この地域をこうしていこうという共通認識が持てているということがあります。

次に、継続的に取り組んでいる事業の特徴としては、市からこのメニューをやってください、こういう事業をやってくださいではなくて、やはり地域住民の話し合いから自発的に生まれた事業というのが継続して続いているというのが2つ目です。

最後に、特に高齢者支援なんかがそうですが、コミュニティビジネス的な要素を入れながら、ある意味、参加している方が気軽に楽しくでき、生きがいにつながっていく、大きくはこういったあたりが特徴として上げられるかなというふうにご覧いただけますので、そういったことを我々も意識しながら進めていきたいと思っております。

先ほどの旗振り役を探すと、自発的な取り組みに対してどのように情報提供して後押ししていくかというところは、ある意味、我々公務員はこれまで訓練を積んできていない苦手な分野でありまして、そういうことからすると、進め方にはがゆさを感じるころがあるかもしれませんが、どうか御指導いただければと思います。以上です。

【稲垣会長】

どうもありがとうございました。

それでは、第13回の地域協議会市民会議は、これをもちまして閉会にしたいと思います。

次回の会議につきましては、詳細は未定ですが、現段階では10月頃に開催させていただく予定です。委員の皆様におかれましては、また忙しいところ出てきていただくことになると思いますが、よろしくお願い致します。それでは本当に長時間にわたり、ありがとうございました。